

公社) 日本山岳会栃木支部 9月マスターズクラブ山行報告書

1 期 日：2025年9月17日(水)

2 場 所：磐梯山

3 日程コース

八方台登山口(8:50)—中の湯(9:20)—弘法清水(10:40)—磐梯山(11:10)—弘法清水(11:50)—中の湯(13:10)—八方台登山口(14:10)

4 参加者：君島敏明、大島健一、鈴木清一(元会員)

5 行動概要

八方台登山口駐車場に午前8時40分に着いたが、すでに10台を超える車が停まっていた。雨は降っていないので登りだした。ブナ林が霧に包まれて幻想的な雰囲気、心地よい風が吹いていた。そのうち硫黄の臭気がし目の前が開けて、足元にブクブクと泡を立てている中の湯に着いた。昔は上の湯、下の湯という湯治場が付近にあったそうだが、1888年の大噴火で埋没してしまった。中の湯は1990年代後半に廃業し、今は何棟かの廃屋があるのみである。



今迄は幅広い道であったが、ここからは石がゴロゴロある少し急な尾根道を登る。その後トラバース気味に行くとお花畑への分岐を過ぎ弘法清水に着く。その名のとおり冷たい清水が、汗をかいた体にはとてもおいしく感じた。相変わらずガスは視界を遮ったままなので、このまま最後の急登の頑張りどころに歩を進めた。



1816mの頂上に着いたら何も見えず真っ白であったが、一瞬にして青空が広がった。足元を持っていかれそうな強い風と不安定な岩のため、下に見えた山頂岡部小屋を風よけにして休んだ。

そろそろ昼の時間も近いので、弘法清水の小屋まで戻った。自家焙煎コーヒーが此処にあるというので、下りてきた冷えた体に温かいコーヒーを良い香りとともにいただいた。「お昼まだなんですよ。ここで食べていったら。」と言われ持参の物をゆっくり食べてから下山した。

途中ガスが突然切れ檜原湖や小野川湖の湖沼群が眼下に良く見えるようになった。紅葉はまだだったがナナカマドの鮮やかな赤い実が鈴なりにになっていた。駐車場で休憩していた鈴木さんが登って来て、一緒に八方台へ戻った。

